このたびは、シチズンウオッチをお買上げ戴きましてありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠ このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■時刻合わせ

時針 / 分針 / 24時間針 / 秒針 / りゅうず 2段引き / (0) (1) (2)

※りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから行ってください。

1．秒針が0秒位置で停止するようにりゅうずを2段引きます。
2．りゅうずをまわして、24時間針を見て、時・分針を合わせたい時刻に合わせます。
3．時報（TEL/117）に合わせてりゅうずを押し込むと秒針はスタートします。

※日付が切り替わったときが午前0時です。午前午後を間違えないように時刻合わせを行なってください。

※節電スイッチ：りゅうず2段引きでは節電状態となり時計は停止します。

■各部の名称

※りゅうずの位置によって時計の表示が異なりますのでご注意ください。

■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは、1/100秒単位の計測で、最大59分59秒99計測表示します。

＜クロノ1/100秒針について＞
・クロノ1/100秒針はスタート後61秒間だけ連続運針して0位置に停止します。その後は1分おきに1回転のデモンストレーション運針をします。

クロノをスタートさせると　①ボタンを押す
・クロノスタートと同時に秒針は0位置まで早送りされて秒クロノ針としてスタートします。
スタート1分1秒以後は
・秒クロノ針は、分クロノ針に切り替わって運針します。

クロノをストップすると　①ボタンを押す
・計測時間が61秒以内の時…クロノ分、秒、1/100秒針は計測時間で停止します。
・計測時間が61秒以上の時…クロノ分、秒針は計測時間で停止します。クロノ1/100秒針は0位置に停止したままです。この時、クロノ分、秒を読み取ります。そこで、再び①ボタンを押してクロノ1/100秒針を計測時間まで早送りします。この時にクロノ1/100秒を読み取ります。

クロノをリセットすると　②ボタンを押す
・クロノ秒針は時刻の秒針に切り替わって運針します。その他のクロノ各針は、0位置に帰零されます。

■日付合わせ

りゅうず 1段引き 日付修正 (0) (1)

1．りゅうずを一段引きにします。
2．りゅうずをまわし、日付を合わせてください。

※日付合わせを午後9時頃～午前1時頃までの間に行うと翌日になっても日付が変わらない場合があります。ご注意ください。
3．日付合わせが終ったらりゅうずを押し込みます。
※日付けは31日周りです。小の月（月末が30日と2月末）から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要です。

■クロノグラフ針の“0”位置合わせ

※電池交換後およびクロノグラフをリセットした時にクロノ各針が0秒位置に戻らない場合

1．りゅうずを2段目まで引きます。
①又は②ボタンを押してクロノグラフ針の0位置合わせをします。
2．①ボタン：1/100秒クロノ針の0位置合わせができます。
　②ボタン：秒クロノ針の0位置合わせができます。
＊①、②ボタンとも押し続ければクロノグラフ針の早送りができます。

1/100秒クロノ針 / 秒クロノ針 / ①ボタン / ②ボタン

3．0位置合わせができたら、時刻を合わせ直してください。そしてりゅうずを元の位置まで押し込みます。
4．②ボタンを押して、クロノ各針が0位置にリセットされていることを確認してください。

■製品仕様

1．**機種No.**：0610
2．**型式**：アナログクオーツウオッチ
3．**水晶振動数**：32,768Hz（Hz=1秒間の振動数）
4．**時間精度**：月差±20秒以内（常温+5℃～+35℃携帯時）
5．**作動温度範囲**：－10℃～＋60℃
6．**付加機能**
　・カレンダー：日付
　・クロノグラフ：1/100秒単位で最大59分59秒99までを計測表示
7．**電池寿命**：約2年（クロノグラフ使用1時間／日）
8．**電池番号**：280-44（SR927W）1個

＊上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■保証とアフターサービスについて

1．**保証について**
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
2．**修理用部品の保有期間について**
当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
3．**修理可能期間について**
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
4．**ご転居・ご贈答品の場合**
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
5．**定期点検（有償）について**
安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
6．**電池について**
お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
※電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。
7．**その他お問い合わせについて**
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

■お取り扱いにあたって

⚠警告　防水性能について

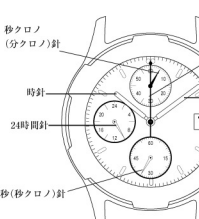
・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などに使用できますが、素潜り（スキンダイビング）などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について
・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
（1barは約1気圧に相当します）

名称	表示（文字板又は裏蓋）	仕様	使用例：水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

＊WATER RESIST(ANT)△△barはW.R.△△barと表示している場合があります。

⚠注意

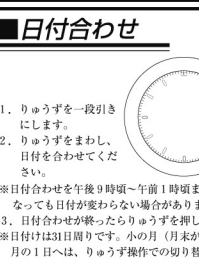
・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久生に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

⚠注意　携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バック等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠警告　電池の取り扱いについて

・幼児の手の届かないところに置いてください。誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師に相談して治療を受けてください。

⚠注意　電池交換について

・電池寿命切れの時計をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

⚠注意　バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠注意　時計は常に清潔に

・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々、りゅうずを通常位置のまままで空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
1．金属、皮革アレルギー
2．時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

＜時計のお手入れ方法＞
・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で拭き取ってください。
・金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属ハンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
・溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

ナチュライト付きの場合
・「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。光が充分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

温度について
・－10℃～＋60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。
・常温（+5℃～+35℃）の温度範囲外で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。

磁気について
・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

静電気について
・クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用溶剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により器械部品が損傷する場合がありますので注意ください。